

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	2 月	19 日	記入者	仲谷裕巳	
調査者名	小倉	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	仏塚古墳					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
指定年月日	1997年(平成9)3月21日					
所在地	生駒郡斑鳩町法隆寺					
所有者 管理者	国(財務省)					
員数						
時代区分						
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	かなり離れた公道に説明版があるが、案内板、道案内はなし。					
公開	自由に見学できる(鉄扉は施錠され、斑鳩町教委によると、内部は立ち入りできない)					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ( )					
当面の課題	古墳の入り口付近にある鉄製名称板が、腐食により落下し無造作に置かれていた。支柱のみが立っている状況である。					
今後の課題	石室入口は全面の田畑より約1.5mほど低い。雨水等の処理が必要。石室が徐々に埋まっていくのではないか。					
その他 (由緒など)	墳丘規模が一辺23m、高さ4.5m前後を測る方形墳で、南に開口する両袖式の横穴式石室がある。築造時期は、遺物から古墳時代後期6世紀後半と推定できる。飛鳥時代～中世に至る遺物も出土。中世の遺物には仏具や仏像などがあり、当該期に石室を祠として再利用したものと思われ、当時の信仰を知る点でも重要な資料を提供している。					
コメント	離れた場所に歴史街道としての説明版があるが、道案内板は見当たらない。非常にわかりづらい場所である。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	2 月	19 日	記入者	仲谷裕巳	
調査者名	小倉	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	仏塚古墳
------	------

説明板と道路の説明標識	古墳全景(手前は田地)
-------------	-------------



石室入口(田畑より下部)	石室内部
--------------	------



落下し無造作に置かれた古墳名称板	古墳名称版の支柱(腐食による落下)
------------------	-------------------

